



さまざまな生きものが田んぼで暮らせるお米づくり



生産者の皆さんと交流しています

コープデリグループでは地元生協・コープデリにいがたを中心に毎年組合員・職員が佐渡を訪問し、生産者の皆さんと交流しています。生産者や地元の方から直接お話を聞き、取り組みの背景や商品の特色を学び、さまざまな体験を通して理解を深め、その理解が周囲に広がることを目指しています。

※コロナ禍により2020年度以降の産地交流は中止・規模縮小しています

田植え



春

JA佐渡の生産者や佐渡市の方々と一緒に、田植えを行いました。水田に異なる品種の苗を植えていく「田んぼアート」に挑戦。前日降った雨によるぬかるみに苦労しながら、一生懸命に植えました。

稲刈り・寄付金贈呈式



2022年度寄付額 314万9,822円
累計寄付額 3,274万1,592円

秋

2022年度の寄付金を贈呈。12年間の寄付金額は3,000万円を超えました。贈呈式後は田んぼアートの稲刈りや生きもの調査を行いながら、トキが羽ばたく自然豊かな佐渡を満喫しました。

草取り



夏



生きもの調査



伸びてきた雑草を丁寧に取り除くことで、田んぼアートのトキのデザインがくっきりときれいに浮かび上がりました。

田んぼにすむ生きものを調べ、生きもの多様性やトキと暮らす環境づくりを学んでいます。

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標12:

つくる責任 つかう責任

につながっています。

日本の空から 消えたトキ

約140cmもの大きな翼を広げ、豊かな里山を舞うトキ。かつては日本のあちこちで見られました。明治以降その数を急速に減らします。美しい「朱鷺色」の羽根が狙われ乱獲されたり、農薬の使用により田んぼからエサとなるドジョウやカエルが減ったためです。1981年、野生のトキ5羽が保護されましたが、増やすことができず、ついに絶滅してしまいました。



食べることで
佐渡を応援

佐渡トキ応援 お米プロジェクト

新潟佐渡コシヒカリ商品の売り上げの一部を、生きものを育むための環境づくりに役立てている「佐渡トキ応援お米プロジェクト」。トキとの共生を目指し、さまざまな活動に取り組んでいます。



再び佐渡を トキの ふるさとに

トキの最後の生息地となった新潟県佐渡島では、1999年に中国から贈られたトキの繁殖に成功。再び自然繁殖へ戻す計画が進められました。しかし、空に放つだけではトキが戻ったとは言えません。野生復帰のためには、トキが住み続けるためのエサ場やねぐらが必要です。そこで佐渡のお米生産者の皆さんは、「生きもの



生きものとの共生する お米づくりを コープが応援

生産者の皆さんが目指したのは、農業や化学肥料を減らし、トキのエサとなるさまざまな生きものが田んぼで暮らせるお米づくり。しかしそれは手間がかかり、収穫量も減る上、環境を維持する費用もかかります。コープデリでは1994年から佐渡のお米を販売し、生産者と親交を重ねる中でその取り組みを知りました。「生産者を応援したい」という想いのもと、2010年に始まったのが「佐渡トキ応援お米プロジェクト」です。

食べることで 生産者を支え、 取り組みを応援できる

佐渡トキ応援お米プロジェクトでは「CO・OP産直新潟佐渡コシヒカリ」やその加工品の売り上げの一部を「佐渡生きもの環境整備基金」に寄付。生きものを育むための環境づくり・お

のを育む農法」を始めました。田んぼをトキのエサ場に、豊かな生態系を守る取り組みです。

組合員のメッセージを
生産者にお渡し
しました!

佐渡米の生産者 齋藤 真一郎さんより

いつも佐渡米を応援していただき、ありがとうございます。最初はトキのことを考えて米づくりをしてきましたが、今ではトキだけでなく、さまざまな生きもの、人、そして地球のことを考えて米づくりをしています。これからも応援よろしくお願いします!

佐渡トキ応援お米プロジェクト 対象商品

- 1kgにつき1円
産直 新潟佐渡コシヒカリ
※5kgと2kgがあり、それぞれ無洗米もあります
- 3パックにつき1円
産直 新潟佐渡コシヒカリで作ったごはん
- 1点につき1円
産直 新潟佐渡コシヒカリで作った焼おにぎり

米づくりなどに役立てられます。2008年から放鳥されたトキは野生復帰が順調に進み、現在は推定569羽が定着しました。定着の成功は、田んぼがエサ場となり、トキの繁殖を後押ししているということ。佐渡のおいしいお米を食べることが、生産者を支え、トキと共生するお米づくりの応援につながります。

未来へつなごう

コープデリは「未来へつなごう」のスローガンのもとSDGsの取り組みを進めています。佐渡トキ応援お米プロジェクトは「未来へつなごう」の一つです。